



錦寿豊苑だより

第 37 号
令和5年4月



3月26日・27日

熊本学習支援センター（熊本フリースクール）

18名（小中学生13名、引率者5名）キャンプにお見えになりました



熊本学習支援センター

不登校・ひきこもり 子どもたちの学びの場
～小学生・中学生・高校生・通信制・定時制～



熊本学習支援センターは、2015年4月に現職・退職の教職員の有志の先生方で創設したボランティア団体です。年々増加する不登校・ひきこもりの子どもたちの現状を憂慮し、悩める子どもたちを明るく未来へ繋げていくために知恵をしぼり、奮闘しています。現在、県下には8校の教室を設け、子どもたちが安心して学べる居場所となっています。さらには、2020年から、熊本県の大学生40名が若い力のあるスタッフとして加わり、頼りになるお兄さんお姉さんとして、子どもたちに寄り添っています。まずは、ひとりで悩まずに、ご相談ください。

熊本学習支援センター
不登校・ひきこもりの学びの場
通信制も開設
代々木高校
大江サテライト教室

大江校・熊本駅前校・長瀬校・清水校・水前寺校・龍軍校・御船校・菊池校
(小学生・中学生・高校生・通信制)

連絡先: 096-288-4482

Supported by THE NIPPON FOUNDATION

熊本学習支援センターについて

- ・開所時間：平日 14:00～19:00
- ・オンライン授業 15:00～17:00
- ※登校時間は、自由です。

学習支援センターの特徴

- ① 学習だけでなく、遊びなどを通して、子どもの居場所となっています。
- ② 第2・第4土曜日には、大江本校にて子ども食堂を開催 12:00～14:00
※子ども食堂開催日は、学習教室を無料開放＜地域の学習教室＞ 10:00～12:00
- ③ 年3回のキャンプを開催 ＜春休み(人吉)・夏休み(天草 御所浦)・秋(阿蘇)＞
- ④ 小学校・中学校では、出席扱いが可能です。
- ⑤ 常時、オンライン授業(一定の基準で出席扱いも可能)も行っています。

ご相談・お問い合わせ

TEL: 096-288-4482 公式LINE: 熊本学習支援センター【公式】



熊本学習支援センター
公式HP



LINE
公式アカウント



Instagram
公式アカウント

熊本私学教育支援事業団・熊本学習支援センター

〒862-0971 熊本市中心区大江3丁目6-8 三花ビル3階 TEL: 096-288-4482(大江本校)



3月9日

東方老人会の方（13名）が、



台湾の徳明財經科技大学
副教授蕭玉燕博士が、
3月27日視察にお見えになりました。

令和5年7月1日より、当苑にインターンシ
ップ（熊本大学とのインターンシップ）の留学生
が

令和4年度 ゆりユニット 研修報告

研修課題:「椅子・テーブルの高さは、入居者様に合わせる」
 (区分) :入居者が自分の住まいと思えるために
 (ねらい) :身体に合った物を使用し快適な生活環境を支える

備品購入1ヶ月後のリビングの状況

【1か月経過の実施報告】
 ユニット職員一丸となって配置・動線・日常生活・食事の状態観察・気づきなどの情報交換・共有し、幾通りの配置パターンやテーブルや椅子・車椅子が利用者に合っているか、入居者同士のトラブルは回避出来ているか等に配慮し、現在の配置に辿り着きました。(現在の配置図参照)
 これが最終ではなく、精神疾患や認知症の進行により、その日の不穏状態を見極めながら、都度声掛けしいつでも変更できるようにユニット全体、多職種連携でチームケアに努めていく。



変更前



変更後

椅子・車椅子・テーブル使用状況一覧 (ゆりユニット)

状況写真	食事・日常の様子・気づきなど	改善案
	車イス座位を保つため、クッション類が必要。傾眠傾向見られ介助拒否や痰絡み、口の中にため込み等もあるため食事量にムラがある。小鉢を持って何口かは自己摂取されていたが最近では、全介助となっている。環境を整え自己摂取を促していきたい。	車椅子用テーブルを購入し改善を図る 資料①参照
	認知症・精神疾患あり。食事をされる時は、静かに食べられるが、早食いで、器を舐められたり、床に落ちたものを拾って食べたりと見守りが必要。それ以外は、大声で叫ばれたり、扉まで出てきたりと落ち着きなく、職員への暴力行為もある。	視線をリビング側に変え職員との信頼関係を築き行動を把握する。改善済み
	長テーブル使用中。異食行為あり、同席者がいると身体を乗り出して食べ物を取って食べられる傾向がある。自力摂取出来ているが、最後の残りは介助が必要	個別テーブル使用が望ましい。現在ある個別テーブルを使用する。
	姿勢もよく箸使いも上手に食事されている。トイレ1まで続く介助バーがあるので杖と並行して歩かせたい。難聴のため後方、横からの声掛けは、不穩につながるため人の気配が分かるようにしたい。	現状維持 長テーブルを窓側に寄せ介助バーを使用する位置に配置する。

【まとめ】

11月下旬より、感染予防対策として見守りや食事介助が必要な人以外は居室での対応となり、床頭台のテーブルより落ち着いて食事ができるテーブルが必要になりました。
 テーブル購入は、タイミング的に良かったと思います。
 テーブルや椅子・車椅子が利用者本人に合ったものを使用しないと食事が摂れなくなったり、苦痛を感じてしまったり、訴える事ができない入居者がいる事等を踏まえて多職種からの視点やアドバイス、ユニット職員からの意見や情報共有し連携が取れた事はとても良かったと思います。

1/30 理事会

決議事項

第一号議案 令和4年度補正予算(第1次)

報告事項

- 令和4年度 錦町運営指導結果及び改善結果報告書
- 令和4年度 12月までの事業実績額(9ヶ月間)
- 令和4年度 月末通帳残高明細(4月~12月)
- 令和4年度 施設長としての主な活動実績(1月まで)



2/15 運営推進会議

3/22 錦町 運営指導に係る改善報告依頼に基づく指導の実施 及び改善状況確認調査の実施



3/28 理事会

決議事項

- 第一号議案 令和4年度補正予算(第2次)
- 第二号議案 令和5年度事業計画(案)
- 第三号議案 令和5年度当初予算(案)
- 第四号議案 就業規則の一部改訂(定年)
- 第五号議案 厚労省「令和5年度:小規模NW構築支援事業」受託
- 第六号議案 施設長の評価方法(評価表)
- 第七号議案 日本財団「みらい福祉施設建築プロジェクト」応募

★職員研修★

- 1月11日 認知症の方の理解
業務改善の研修
口腔ケア
- 1月25日 介護リスクマネジメント
- 3月27日 事故報告書・ヒヤリハット集計
安全対策・事故防止委員会活動報告
介護における見守りとは



